

第3回日蘭農業協力対話全体会合の概要

令和4年11月30日
輸出・国際局国際地域課

1. 日時：令和4年11月30日（水）16：30～17：40

2. 参加者

（日本側）農林水産省：安楽岡審議官

国際地域課：西川国際交渉官、笹尾補佐、富樫係員

知的財産課：松本課長、萩原補佐

在オランダ日本大使館：吉川一等書記官

（オランダ側）オランダ農業・自然・食品品質省：

ヤンケース・フット事務次官

フレデリック・フォッセナー特使

マリエン・ヴァルスター種子植物繁殖資材上級政策官 他

3. 場所：オンライン（Zoom）（農林水産省イコルーム A）

4. 議事概要

（1）第1回分科会報告（2019年12月4日、農林水産省）

「畜産バイオマス」

両国の政府関係者、事業者等の参加により、家畜排せつ物などの畜産バイオマス分野における技術開発の現状と課題について意見交換したことを報告。

（2）第2回分科会報告（2022年7月11日、農林水産省）

「オープンイノベーションと国際研究協力」

両国の政府関係者、研究機関等により、将来の課題解決のためのオープンイノベーションと産学官連携した取組について意見交換したことを報告。

（3）第3回分科会報告（2022年11月29日、オンライン）

「施設園芸のゼロエミッション化」

両国の事業者、研究機関等により、施設園芸のゼロエミッション化における取組事例と課題について意見交換したことを報告。

（4）その他協力事項の進捗状況の報告

「日本とオランダの植物品種保護（PVP）分野の協力について」

農林水産省輸出・国際局知的財産課から、侵害対策における協力や育成者権管理機関の連携など、両国で取り組んでいる植物品種保護分野に関する日蘭協力関係の覚書について年内には締結できるよう協議を進めてきたい旨報告。オランダからはヴァルスター上級政策官より覚書を締結し、大きな協力関係を築いていきたい旨コメント。

（以上）

会合中の様子

